

江東きっずクラブ豊洲四丁目

【職員の状況】

職名	令和7年4月1日の職員数				年間就任・退任							令和8年4月1日の職員数			
	(内休業職員数) 正規職員	有期契約職員		計	正規職員	有期契約職員				計	(内休業職員数) 正規職員	有期契約職員		実人員合計	
		常勤	非常勤			就	退	就	退			就	退		
															常勤
サービス管理者	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
主任	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
副主任	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	3	0	0	3
非常勤	0	0	5	5	0	0	0	0	3	2	5	0	0	7	7
登録型非常勤パートタイマー	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
計	3	0	6	9	1	1	0	0	2	3	7	4	0	7	11

【施設運営状況】

- 令和7年度は既存職員が多いものの児童数の増加もあり、昨年度と同様大きな変化があるスタートでした。児童数に合わせたやり方や同線等、職員間で話し合い、修正を重ねながら日々運営しておりました。また、夏休み前には正規職員の異動がありこれも大きな変化となりました。新しい職員が増えたことで、新たな風が吹き、チームの一体感が高まってきました。
- また、昨年度までは、「みんなで一緒に」という部分が多かったですが、今年度は自分で選択する形を取り入れました。工作或公園遊び等、自分で選んで決めます。そうすることで、やりたい子が楽しめるだけでなく、窮屈感の解消や自分で選択する責任感を持つことにも繋がったと考えます。
- 土曜運営は専属職員が継続して勤務をしています。昨年度に比べ、出席人数は増加し、平均20人前後で、多いときは30人の利用者がいました。土曜日は平日以上に様々なきっずクラブの児童が集まるので、ルールの周知や児童、保護者との関係性を築くのに時間がかかります。その中で、安全に楽しく過ごすためにはどうしたらいいのかを職員間で意見交換をしながら日々運営しておりました。年々出席人数の増加があるため、今後の運営方法は検討していく必要があると思います。

【利用者支援状況】

- 保護者会を年3回（5月、7月、3月）行い、保護者交流に力を入れました。また、個人面談を2回実施しました。希望者のみでしたが、20～25家庭の参加があり、情報共有や要望を聞いて貴重な時間となりました。

【施設整備状況】

[区から準備した物品] 男子トイレ扉修理 (鍵)
 [法人で購入した物品] 職員用ロッカー・シュレッダー

【年間利用状況】 (各月平均利用数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
平日	31	30	29	31	29	30	30	29	30	28	26	29	352	29.33
土曜	22	23	25	18	17	21	19	18	22	20	19	17	241	20.03
計	53	53	54	49	46	51	49	47	52	48	45	46	593	49.42

【利用者在籍状況推移】 (各年度3月1日現在)

年度	平日
令和5年度	17
令和6年度	33
令和7年度	39

【主なできごと】

4月：タイムカプセル・自己紹介カード・交通安全教室
 5月：花壇 (草むしり)・ペイント遊び
 6月：チャレンジ月間 (こま・けん玉・オンリーワン・マンカラ)・スポーツ教室・食育活動 (食材探し)
 7月：よんカフェ・水でっぼう遊び・ぬりえコンクール
 8月：夏祭り (きっずガーデン豊洲保育園招待)・スイカ割り・秘密基地作り・スライム作り・すごろくゲーム
 9月：交通安全教室・マンカラ大会・引き渡し訓練
 10月：ハロウィンパーティー・ハロウィン工作
 11月：消防署見学
 12月：お楽しみ会・大掃除
 1月：伝承遊び・スポーツ交流会・弓道体験
 2月：節分・検定月間 (けん玉・こま・オンリーワン)・おこづかい教室
 3月：タイムカプセル掘り起こし・お別れ遠足・ドッジボール大会
 ※毎月：誕生会、工作、おたより配り、避難訓練 実施
 月2回 英語で遊ぼう (対面：月 or 水)

【苦情内容及び結果の公表】

件数	主な苦情内容	対応及び解決方法
1件	保護者 帰宅時間変更の電話連絡の折り返しルール時の職員対応についてのご意見をいただきました。	職員の認識不足と対応が原因だったため、ルールの確認と対応方法を指導しました。保護者には、正確なルールの説明と、職員の指導不足を謝罪いたしました。

【その他】

① 安全管理

● 避難訓練

- ・ 火災、地震、と場面を想定して毎月避難訓練を行いました。
- ・ キッズガーデン豊洲と合同で数回避難訓練を行いました。（地震・高台）

● 健康管理

- ・ ケガや体調不良の児童については、法人で作成した「処置簿」の使用を徹底しました。（お迎え時には詳細説明）
- ・ 首から上のケガは保護者には電話で必ず連絡を取るようにしました。必要があればお迎え依頼をして対応しました。

● 衛生管理

- ・ 活動前、活動後のアルコール消毒の徹底をしました。
- ・ ハンカチを毎日持ってくるように声をかけ、忘れてしまった児童にはハンカチの貸し出しをして対応しました。

● 安全管理

- ・ 始礼や終礼の場で全職員に情報共有及び注意喚起をしました。
- ・ 異物混入や体調変化の時の対応（成分確認）が出来るようにおやつ提供後1週間は成分が表示されている袋を保管していました。
- ・ アレルギー児童には書類の提出を依頼し、個人の成分チェック表（板橋の様式を変更したもの）を作成しました。
「賞味期限、成分表の確認を2回（午前、午後）複数人で実施」、「児童に向けてメニューと期限の提示」を徹底することにしました。また、アレルギー児童専用のおぼんとお皿で提供しました。

② 地域交流

- ・ 毎月発行しているおたよりを、児童と一緒に近隣の保育園（ゆらりん豊四保育園・豊洲保育園・ひまわりキッズガーデン豊洲）へお届けに伺いました。
- ・ 8月下旬には、あいキッズ主催の夏祭りを実施し、時間を分けて隣接しているひまわりキッズガーデン豊洲の園児を招待いたしました。「スーパーボールすくい」「輪投げ」「ボウリング」「的当て」の4つのブースを、児童たちが企画から準備、当日の運営まで担当しました。江東きつずクラブ豊洲

四丁目の児童と園児と一緒に楽しみ、室内は大変にぎやかな雰囲気となりました。園児にどうやったら楽しんでもらえるのかを考えながら接している姿に成長を感じました。

- 11月には、近隣の深川消防署を見学させていただきました。今年で3回目の訪問となり、今回は消防車の乗車体験や道具の説明に加え、署内のトレーニングルーム、仮眠室、食堂など、普段は見ることでできない施設も見学させていただきました。子どもたちは興味津々で、積極的に消防士の方々に質問をしていました。
- 1月には、豊洲地区の5つのきっずクラブが豊洲西小の体育館に集まり、スポーツ交流会を実施しました。各主任指導員で企画し、内容、準備、当日の進行までを一緒に行いました。「ドッジボール大会」以外で交流することはほぼないので、貴重な時間を過ごすことができました。また、誰もが知っている「スポーツ」を取り入れたため、児童も楽しく参加していました。
- 3月には、深川南部地区のドッジボール大会に参加いたしました。今年は2チーム編成が可能な人数でしたが、調整の結果1チームでの出場となりました。例年以上に練習に力を入れ、特にパスの練習に重点を置いて取り組みました。当日は遠足と同様に非常に暑く、熱中症になりかける児童もおりましたが、保護者を含む17名の方々に応援にお越しいただき、大変盛り上がりました。その結果、第3位という好成績を収めることができました。特に2年生の男子児童は大会に強い思い入れがあり、試合に敗れて悔し涙を流す姿も見られました。保護者の皆様からは、子どもたちの熱意に驚くとともに、前向きなご感想を多数いただきました。

志村第六小学校あいキッズ

【職員の状況】

職名	令和7年4月1日の職員数				年間就任・退任								令和8年4月1日の職員数			
	(内休業職員数) 正規職員	有期契約職員		計	正規職員	有期契約職員				計	(内休業職員数) 正規職員	有期契約職員		実人員合計		
		常勤	非常勤			常勤		非常勤				常勤	非常勤			
						就	退	就	退						就	退
サービス管理者	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
主任	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
副主任	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	
非常勤	0	0	23	23	0	0	0	0	9	7	2	0	0	29	29	
登録型非常勤パートタイマー	0	0	2	2	0	0	0	0	2	0	2	0	0	1	1	
計	4	0	25	29	0	0	0	0	11	7	4	4	0	30	34	

【施設運営状況】

- 2025年度は「放課後は冒険だ！」をビジョンに掲げ、子どもが主体的に考え、行動することを重視した取り組みを進めてまいりました。
ホールでの遊びについては、子どもたち自身が内容を決定する形を取り入れ、自主性の醸成を図りました。学習面においては、「静か学習」「相談学習」「タブレット学習」の各部屋を設け、子どもが自ら学習環境を選択し、それぞれの場のルールに基づいて過ごす仕組みを整備しました。
- また、職員においては子どもとの関係構築を最優先とし、一方的な指導ではなく、子ども自身が考え判断できるような声かけを意識して支援にあたってきました。

【利用者支援状況】

- 多くの利用児童がいる中で、どうしても職員からの注意の声掛けが多くなってしまいう状況を変えるために、「児童一人ひとりとの最初のコンタクトはポジティブなやりとり！」を職員全員に周知し、取り組みました。結果、児童たちから「先生、みてみてー」という発信が増え、子どもたちにとって職員が認めてもらいたい相手になりました。
- 職員会議の場で思ったことを気兼ねなく話せる場にするため、会議の内容に、必ず皆が発言しそれを共有する時間を作りました。そうすることで、職員からのアイデアや困り事を的確に拾えるようになりました。

【施設整備状況】

[区が準備した物品] なし

[法人で購入した物品] なし

【年間利用状況】（各月平均利用数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
きらきら オレンジ	164	151	154	148	125	147	143	124	142	137	123	131	1541	128.41
さんさん	48	45	42	41	28	31	31	29	32	26	25	31	389	32.41
計	212	196	196	189	153	178	174	153	174	163	148	162	1930	160.83

【利用者在籍状況推移】（各年度3月1日現在）

年度	きらきら	全児童
令和5年度	227	377
令和6年度	214	413
令和7年度	229	407

【主なできごと】

- 4月：ぬりえコンテスト、こいのぼり工作、入学進級お祝い会
5月：バスケットタイム、交通安全指導、キラキラ工作、サッカータイム、ドッジボールタイム
6月：足し絵コンテスト、バスケットタイム、けん玉教室、サッカータイム、七夕工作、お弁当工作
7月：ロボット教室、どろだんご作り、リレー大会、カチカチ選手権
8月：レジン工作、水中花火オンライン、円盤サッカー、チュックボール大会、スライム作り
9月：先生とワイワイ day、バルーンアート、空き箱工作、まんから大会
10月：ハロウィン工作、茶道教室、初心者サッカー教室、ハロウィン玉入れ
11月：お弁当工作、箱積み競争、クラフト工作、カチカチ選手権、がちがちドッジボール
12月：あみぐるみ工作、キッチャレ day、みんなでレッツダンス、志六クエスト、年末お楽しみ会
1月：お正月 WEEK けん玉、お正月 WEEK めんこ、みんなでレッツダンス
2月：鬼退治玉入れ、プラズマーカーGP、ミニミニ帽子作り、あいうえおゲーム記録会
3月：キッチャレだよ！全員集合！、春色飾り作り、大掃除大会、年度末お楽しみ会
- ※ 英語であそぼう 隔週木曜日 対面にて実施
※ しゅくだい先生 隔週水曜日
※ サポーター事業 読み聞かせ（毎月第2火曜日）、クラフト教室（毎月1回金曜日）、
ヨガ教室（毎月1回）野球教室月1回

【苦情内容及び結果の公表】

件数	主な苦情内容	対応及び解決方法
2件	保護者 児童同士のトラブルに対して、あいキッズ側からの発信が無く、子どもから聞いた後、あいキッズに戻り話を聞こうと思ったら「オンライン会議中だから対応できない」と他の職員に言われた。知っている職員が対応するか、保護者に伝えられるよう職員間で情報共有してなければ保護者に適切に対応できないのでは？とのご意見を頂きました。	本来、トラブルや怪我の報告がある場合、受付で使っている利用者個人のICカードに「伝言クリップ」を付けることになっているのだが、そこがなされていなかったことが原因です。責任者、副責任者でお話を伺い、本来やるべきことがなされていなかったこと、それにより多大なご心配をおかけしたことについて謝罪しました。今後、改めて手順飛ばしがないように日頃から点検していきます。

	保護者	施設内での移動中、階段にて他児童とすれ違いざまに頬が、頭とぶつかりアイシング対応した。首から上の怪我のためパート職員が保護者（父）に連絡。その際に父から相手の名前と連絡先を聞かれたが、ぶつかった相手が不明だったため、それを伝えたところ、「大きな怪我や死に直結するものでもわからなかったと言うのか？」とご指摘。さらに責任者に変わり状況の説明をしたところ「それは全て弁明。今後の対策としてどうするのか？」とご意見を頂きました。	細かく説明をしている中で、お母様から「父も母も階段から落ちたのだと思っていた。」との話をもらい、説明が至らなかったことを謝罪しました。そのうえで改めて活動を充実させ、廊下を動き回る児童を少なくしていくことと、階段の昇降について子どもたちに注意を促していくことを伝えました。お母様からは「ご迷惑をおかけしました。父もカーッとすると色々言うのであまりお気になさらず。」というお言葉をもらいました。
--	-----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【その他】

① 安全管理

■ 防災訓練

- ・ 地震や火災に備えた避難訓練を12回実施しました。

■ 健康管理

- ・ アレルギー児童へは保護者と面談の上、座る場所を限定し安全な環境で補食を提供できるように配慮しました。主に複数名での確認、アレルギー児童は専用のお盆にて提供をしています。
- ・ 体調不良を訴える児童については安静に過ごせる環境を設け、早めに保護者への連絡するようになりました。
- ・ 気温が高い日は、外遊びの合間に水分補給の休憩時間を設けて、児童及び職員の体調管理に努めました。

■ 衛生管理

- ・ 児童来室時には職員が手洗い場に立ち、石鹸を使った手洗いの徹底を呼びかけました。また、活動の切り替えのタイミングで手を洗うようにしました。
- ・ 毎日、補食配膳担当者が衛生点検を実施しています。

■ 安全管理

- ・ 台風や地震の後に施設を点検し破損個所の確認をしました。

② 地域交流

- ・ 近隣保育園との連携の一環として、年長児をお招きし、あいキッズ体験やじゃがいも掘りを実施いたしました。また、近隣4園合同によるドッジボール大会を、あいキッズのホールにて開催いたしました。
- ・ 蓮根図書館様より定期的に図書をお借りし、学習時間中に子どもたちが読書できるように活用しております。

大谷口小学校あいキッズ

【職員の状況】

職名	令和7年4月1日の職員数				年間就任・退任							令和8年4月1日の職員数			
	(内休業職員数) 正規職員	有期契約職員		計	正規職員	有期契約職員				計	(内休業職員数) 正規職員	有期契約職員		実人員合計	
		常勤	非常勤			常勤		非常勤				常勤	非常勤		
						就	退	就	退						就
サービス管理者	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
主任	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
副主任	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
一般	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
非常勤	0	0	10	10	0	0	0	0	4	3	1	0	0	13	13
登録型非常勤パートタイマー	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0
計	3	0	10	13	0	0	0	0	7	6	1	3	0	13	16

【施設運営状況】

- 令和7年度は、責任者が他施設へ異動しましたが、その他には異動・退職者はおらず、安定した職員体制を維持することができました。職員が出来る事、知っている事を少しずつ増やすことで、子どもたちに還元していくことを目標に、話す機会を設けてきました。年度の途中から終礼を開始し、日々の相談や気になった事をその日のうちに解決できるようにしました。回数を重ねるうちに、困った事だけでなく、子どもたちの良い場面についての発言が増えてきています。話しが出来る環境づくりが、子どもたちを知る時間にもつながり、支え合う職場風土が深まったと感じています。

【利用者支援状況】

- 毎月、学校長・副校長と共有会を実施しています。あいキッズの運営状況や児童/家庭に関する情報の交換などを行っています。やり取りをした情報を日々の運営に活かすことができています。その他に、日々学級担任や養護教諭とも情報共有をすることで、児童の状況への理解を深める事が出来ました。
- 配慮の必要な支援児の関わりに関して、臨床心理士の先生による研修を受講するなど、保護者や学校との連携以外にも、特性の理解に努めました。
- あいキッズ利用への不安を減らすため、7月に「夏休み利用説明会」、12月に「申請説明会」、3月に「利用説明会」を実施しました。また、2月には学校の「新一年生保護者会」でもお時間を頂き、あいキッズの概要説明と手続きについてお伝えしました。

【施設整備状況】

[区が準備した物品] インターホン、冷蔵庫

[法人で購入した物品] 特になし

【年間利用状況】 (各月平均利用数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
きらきら オレンジ	81	83	82	81	68	76	73	67	72	65	63	62	873	72.75
さんさん	27	27	31	35	24	27	23	22	25	19	21	21	302	25.17
計	108	110	113	116	92	103	96	89	97	84	84	83	1175	97.92

【利用者在籍状況推移】 (各年度3月1日現在)

年度	きらきら	全児童
令和5年度	118	347
令和6年度	109	333
令和7年度	128	331

【主なできごと】

- 4月：一年生タイム、こいのぼり工作
 5月：お弁当工作（食育）、わくわく科学実験
 6月：手芸クラブ、日本を知ろう
 7月：わくわく科学実験、SDGs工作（牛乳パックの船）
 8月：あいキッズ祭り
 9月：十五夜ピカピカどろだんご、モルック
 10月：弥生小あいキッズ交流会、ハロウィン工作、日本を知ろう
 11月：クリスマス工作、クリスマス足し絵コンクール、ウォーミングアップチャレンジ
 12月：お正月工作、クリスマスコンサート、レッツ大掃除、
 1月：正月あそび（羽根つき、巨大すごろく）、節分工作、バレンタイン足し絵コンクール
 2月：くずのは祭
 3月：子ども企画工作、手芸クラブ、日本を知ろう

※英語で遊ぼう 毎月2回 対面にて実施

※毎月実施 音楽クラブ、キックベース、あそびっこチャレンジ

※サポーター事業 将棋、琴教室、新体操教室、ちゃんばら教室、イラスト教室、プログラミング教室、絵本読み聞かせ

【苦情内容及び結果の公表】

件数	主な苦情内容	対応及び解決方法
2件	保護者 児童トラブルに関して、偏りが無いように職員が聞き取りを行って欲しい旨のご意見をいただきました。	ご指摘を受け、児童への聞き取りと経緯の報告がどちらも不十分であった事を保護者へ謝罪しました。また、相手児童への指導をあいキッズで行う旨をお伝えしご理解いただきました。
	保護者 他児の八つ当たりで水筒がへこんだ件について、相手保護者に「物に当たることは良くないと」きちんと伝えて欲しい旨のご意見をいただきました。	ご意見を受け、あいキッズとしても再度指導をする事と、相手の保護者の方にもご連絡をする旨をお伝えしました。

【その他】

① 安全管理

● 防災訓練

- ・ 火災や地震などの災害時を想定した避難訓練を毎月実施しました。（内、引き渡し訓練1回、防犯訓練1回含む）
- ・ 防犯訓練では、警察署より借りた不審者訓練に関するDVDを鑑賞し、登下校や一人で道を歩いているときに不審者に遭遇した場合の注意事項などを確認しました。

● 健康管理

- ・ アレルギー児童へは保護者と面談の上、安全な補食を提供できるように配慮しました。
- ・ 受付時に児童への視診や声かけを行い、体調の悪そうな児童には早期に対応しました。
- ・ 猛暑の時期には、暑さ指数（WBGT）に基づき、31℃以下の外遊び可能な日のみ屋外で遊び、水分補給の休憩時間を設けて、児童及び職員の体調管理に努めました。

● 衛生管理

- ・ 毎日、補食配膳担当者が衛生点検を実施しました。
- ・ 児童には手洗い・消毒の励行の呼びかけをし、ハンカチ持参が習慣化するように努めました。
- ・ 児童の使用する玩具や施設内の手の触れる部分（ドアノブ、電気スイッチ、手すり、テーブル、椅子など）の消毒を日々実施しました。

● 安全管理

- ・ 事故や怪我が起きないよう、活動前には施設内・校庭の点検を行いました。
- ・ 職員配置に不備のないよう、毎日のミーティングで確認してから児童対応を行いました。

② 地域交流

- ・ 毎月発行している『あいキッズ便り』は、学校を通じて全校児童に配付しているほか、運営協議会の委員の皆様、補食提供でお世話になっている地域の商店、サポーター講師の方々にも継続してお届けしております。
- ・ 近隣保育園の年長児が、午前中にあいキッズを訪問し、室内での遊び体験を行いました。
- ・ 近隣保育園年長児の保護者会において、あいキッズの利用に関するご説明をさせていただく機会をいただきました。
- ・ 小茂根図書館様より、児童の学習時間に活用できる図書を定期的にお借りしております。また、あいキッズで制作した工作作品や、毎月発行している『あいキッズ便り』を館内に展示・掲示していただいております。
- ・ 6月および2月に『あいキッズ運営協議会』を開催いたしました。校長先生をはじめ、学校関係者、地域サポーター、町会長の皆様に委員をお願いし、あいキッズの目的や日々の活動についてご報告いたしました。ご出席の皆様からは、今後の運営に向けた貴重なご意見を多数頂戴することができました。
- ・ 上板橋のパン屋様から月に1~2回、補食の配達をさせていただいております。
- ・ 長年利用させて頂いていた肉屋様のお惣菜提供終了に伴い、南常盤台の総菜屋様からの購入を始めました。
- ・ 町内会長様のご紹介により、3月から新たにちゃんばら教室の講師に来ていただけることになりました。

上板橋第二小学校あいキッズ

【職員の状況】

職名	令和7年4月1日の職員数				年間就任・退任						令和8年4月1日の職員数				
	正規職員 (内休業職員数)	有期契約職員		計	正規職員 就	退	有期契約職員		計	正規職員 (内休業職員数)	有期契約職員		実人員合計		
		常勤	非常勤				就	退			就	退			
														常勤	非常勤
サービス管理者	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
主任	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
副主任	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
一般	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
非常勤	0	0	15	15	0	0	0	0	5	10	-5	0	0	13	13
登録型非常勤パートタイマー	0	0	2	2	0	0	0	0	0	1	-1	0	0	1	1
計	3	0	17	20	0	0	0	0	5	11	-6	3	0	14	17

【施設運営状況】

- ・今年度は責任者の交代に加え、5名の入職に対して10名の退職が発生し、職員の入替わりが多い一年となりました。こうした変動により、一時的に運営面での混乱や不安の声も上がりましたが、目指すべき状態を見据え、現状で取り組める改善策を模索しながら運営を進めてきました。その結果、改善すべき課題を明確に把握し、今後の方向性と取り組むべき事項を整理することができました。これらを踏まえ、次年度以降の運営に確実につなげていきます。

【利用者支援状況】

- ・子どもたちの様子や日々の出来事を随時連絡し、家庭との情報共有を丁寧に行いました。
- ・あいキッズ祭やお楽しみ発表会に保護者を招待し、活動の様子を直接見ていただく機会を設けることで、あいキッズでの子どもたちの成長や取り組みをより深く知っていただけるよう努めました。
- ・保護者会ではスライドショーの上映や親子遊び体験を実施し、家庭と施設が一体となって子どもを支える関係づくりを進めました。
- ・小学校との月1回の定例情報共有に加え、日常的な出来事についても適宜連絡を取り合い、双方で連携した対応を行うことで、保護者や子どもたちの安心と成長につながる支援体制を整えました。

【施設整備状況】

- ・コスモスのトイレを事務室化工事
- ・靴箱の撤去
- ・ひまわり座卓の譲渡と机の追加
- ・コスモス空調の洗浄

- ・コスモス扇風機設置
- ・更衣室ロッカー設置

【年間利用状況】（各月平均利用数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
きらきら オレンジ	99	99	102	99	75	98	96	82	99	91	89	90	1119	93.25
さんさん	22	22	21	23	14	18	16	14	17	13	14	15	209	17.41
計	121	121	123	122	89	116	112	96	116	104	103	105	1328	110.67

【利用者在籍状況推移】（各年度3月1日現在）

年度	きらきら	全児童
令和5年度	135	336
令和6年度	138	350
令和7年度	104	374

【主なできごと】

- 4月：1年生タイム、キックベース、足し絵コンテスト
 5月：おりがみ工作、リレー、レゴコンテスト
 6月：リングビー、ドッジボール、お弁当工作
 7月：七夕工作、ラキューコンテスト、足し絵コンテスト
 8月：ミュージカル同好会、アルティメット、あいキッズ祭り
 9月：バシ抜き大会、リレー、ラキューコンテスト
 10月：十五夜ピカピカどろだんご、カチカチ選手権、ハロウィン工作
 11月：作って飛ばそう紙飛行機、スライム工作、スポーツ教室
 12月：あみあみ、ミュージカル同好会発表会、ピカピカ大作戦
 1月：お金と保険の話、ジェストラ、節分工作
 2月：保育交流会、キラキラ工作、お楽しみ発表会
 3月：キッチャレオンライン、ひなまつり工作、保育交流会

※月1回月曜日 英語であそぼう

※月1回 サッカー、野球、ドッジビー、ドッジボール

※月1～2回 ミュージカル同好会（7月以降）

※サポーター事業 読み聞かせ、将棋教室、卓球教室、イラスト教室、
遊びサポーター、プログラミング教室、ウニの餌やり体験

【苦情内容及び結果の公表】

件数	主な苦情内容	対応及び解決方法
2件	保護者 他児とのトラブルをめぐり、保護者と一緒にいる他児のところへ当該児童を呼び、真相についての事実確認をした。職員の対応について、「保護者の許可なく、相手の保護者と引き合わせる対応はとても不安で怖いと感じる。」とのご意見を頂きました。	意図して引き合わせたわけではなかったが、児童が不安を感じるような状況となってしまったことについて配慮に欠けていたことについて謝罪いたしました。今後は、児童の気持ちに配慮した丁寧な声かけを徹底するよう、職員間での意識共有を図ってまいります。
	保護者 「行事に参加した際、先生に独楽板を倒され怪我させられたので娘に謝ってほしい」といった主旨のご意見を頂きました。	関係児童への聞き取り調査や本人への確認の結果、職員は別の場所において独楽板を倒していなかったことが判明しました。独楽板の設置場所における配慮不足（環境管理の不備）があり、怪我につながってしまったことに対しては謝罪いたしました。

【その他】

① 安全管理

● 防災訓練

- ・ 火災や地震などの災害時を想定した避難訓練を5月より毎月実施しました。（内、引き渡し訓練1回、防犯訓練1回含む）
- ・ 防犯訓練では、警察署より借りた不審者訓練に関するDVDを鑑賞し、登下校や一人で道を歩いているときに不審者に遭遇した場合の注意事項などを確認しました。

● 健康管理

- ・ アレルギーがある児童の保護者と定期的に話をし都度情報を更新していきました。
- ・ 活動中の水分補給や手洗い、着衣の調整など時期に合わせ必要な対応をしていきました。
- ・ 児童が来所した時に、顔色や声色を確認し、日々の体調の変化に気を付けてきました。
- ・ 猛暑の時期には、暑さ指数（WBGT）に基づき、31℃以下の外遊び可能な日のみ屋外で遊び、水分補給の休憩時間を設けて、児童及び職員の体調管理に努めました。

● 衛生管理

- ・ 毎日、補食配膳担当者が衛生点検を実施しました。
- ・ アレルギーチェックのやり方を全員で確認し、どの職員もアレルギー児童と食品成分に対する理解を持つと共に、ダブルチェックの抜けがないようにしました。
- ・ 補食の配膳におけるチェックの手順を貼り出し、すぐに見て確認できるようにしました。

● 安全管理

- ・ 前日に起きた怪我やトラブルは始礼時に共有し同じことが起こらぬよう対策の検討をしました。
- ・ 校庭の安全チェックは、校庭遊び前に危険物の除去や遊具の点検を行い事故に繋がらないよう努めてきました。

② 地域交流

- ・ 毎月発行している『あいキッズ便り』は、学校を通じて全校児童に配付しているほか、運営協議会の委員の皆様、補食提供でお世話になっている地域の商店、町内会の方々にも継続してお届けしております。
- ・ 6月および2月に「あいキッズ運営協議会」を開催いたしました。校長先生をはじめ、学校関係者、近隣保育園、地域センターの皆様にご参加いただき、あいキッズの目的や日々の活動について報告を行いました。ご出席の皆様から今後の運営に向けた貴重なご意見を多数頂戴することができました。
- ・ 近隣保育園5園（大谷口保育園、キッズタウンむかいほら保育園、にじいろ保育園小茂根、茂呂塾保育園、ひまわりキッズガーデン小茂根）との交流会を実施しました。午前中には園児の皆さんがあいキッズを訪問し、室内遊びの体験を行い、午後の時間帯には小学生と一緒に遊ぶ交流活動を行いました。また、ひまわりキッズガーデン小茂根においては、4・5歳児クラスの保護者の皆様を対象に、「あいキッズの概要および日々の過ごし方」について紹介する説明会を、大谷口小あいキッズと合同で開催いたしました。
- ・ 小茂根図書館様より、児童の学習時間に活用できる図書を月1回お借りしております。

志村坂下小学校あいキッズ

【職員の状況】

職名	令和7年4月1日の職員数				年間就任・退任						令和8年4月1日の職員数				
	(内休業職員数) 正規職員	有期契約職員		計	正規職員	有期契約職員				計	(内休業職員数) 正規職員	有期契約職員		実人員合計	
		常勤	非常勤			常勤		非常勤				常勤	非常勤		
						就	退	就	退						就
サービス管理者	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
主任	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
副主任	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
一般	2	1	0	3	2	1	0	1	0	0	0	2	1	0	3
非常勤	0	0	18	18	0	0	0	0	5	4	1	0	0	18	18
登録型非常勤パートタイマー	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	-2	0	0	2	2
計	4	1	19	24	1	1	0	0	5	6	-1	4	1	20	25

【施設運営状況】

- 2025年度は、「利用者の思いに寄り添い、声に耳を傾け、その思いをつなげて実現できる職員集団」を目指すべき姿として掲げ、運営に取り組んでまいりました。子どもたちに対しては、行事を通じてさまざまな体験ができるよう工夫し、毎日を楽しく過ごし、笑顔で帰宅できるよう心がけました。また、トラブルがあった際には、帰宅前に一言声をかけることを意識し、安心して一日を終えられるよう努めました。
保護者の皆様にとって、子どもたちの学びのある場であると同時に、安心・安全な運営を心がけてまいりました。全学年の児童から行事のリクエストを募り、リクエストをした児童との対話を通してどのような形にするのか職員がサポートする機会を増やしました。一つずつ丁寧行うことはとても時間がかかることでしたが、実施後の子どもたちの反応や、リクエストがすこしずつ増えてきたことや、具体的なイメージを持って投票する児童が増えたことは、施設として目指している姿に近づいている状況であるのだと感じています。
- 学校との連携においては、日々のあいさつを大切にするとともに、あいキッズ内での出来事のうち、翌日以降の学校生活に影響を及ぼす可能性のある内容については、継続的に情報共有を行ってまいりました。また、日々の活動拠点となる教室の清掃や消毒を欠かさず行うことで、放課後に学校が使用予定だった教室を、あいキッズの活動場所として優先的にご配慮いただける機会も増えております。今後も、学校との良好な関係をさらに深めていけるよう、あいキッズからの積極的な情報発信に努めてまいります。
- チーム内における業務分担と役割の明確化を継続して行っています。誰がどの業務を担うのかを意識して、チームとして業務を遂行できるように少しずつなってきたように感じています。次年度も継続して行い、それぞれの役割に応じた業務と、権限の委譲をしていき、チームとしての成熟度を上げていければと考えています。

【利用者支援状況】

- 保護者がお迎えにいらした際には、その日の児童の様子をできる限りお伝えするよう心がけました。特に、工作教室などの行事については直接お知らせすることで、日々の取り組みを知っていただく良い機会となりました。また、大きな行事の際には、入退出システムを活用し、メールにて全

体への情報発信を行いました。さらに、児童の普段の活動の様子をご覧いただける機会として、『あいキッズ展覧会』を開催いたしました。

- ・ 保護者や児童から、友人関係・遊び・健康に関するご相談をいただいた際には、丁寧にお話を伺い、必要に応じて関係するご家庭にも状況の確認を行いました。また、児童同士の話し合いや、保護者同士での意見交換の場を設けるなど、円滑な関係づくりに努めました。
- ・ 学校との連携においては、副校長先生との情報共有に加え、必要に応じて各クラス担任の先生方とも連絡を取り合い、児童に関する情報交換を行ってまいりました。こうした連携の積み重ねにより、学校側からのご相談も月を追うごとに増え、児童の情報共有会に呼んでいただくことができました。また、学校が主催する地域防災協議会が数年ぶりに開催された際にも、協議会メンバーとして参画することになりました。あいキッズの行事開催にも理解をしていただき、体育館や校庭の使用に関しても、事前に予定をお伝えすることで、他団体よりも優先的に使用させていただける機会が増えております。
- ・ 職員間での情報共有においては、指導記録や児童の前日の様子をまとめた資料を活用し、情報の抜け漏れがないよう努めました。常勤間での情報共有する日を月間の中で設定し、職員の困りごとや疑問について協議して、共通の認識が出来るように始礼の場で全職員に共有することを行い、チーム全体で同じ考えを基に、共通の認識を持てるようにしてまいりました。

【施設整備状況】

[区で準備した物品] 大型扇風機：2台
[法人で購入した物品] インカム：4台、電子レンジ

【年間利用状況】（各月平均利用数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
きらきらオレンジ	125	120	119	116	95	109	103	80	97	92	87	91	1234	102.83
さんさん	24	19	16	22	22	19	15	11	16	13	13	13	203	16.91
計	149	139	135	138	117	128	118	91	113	105	100	104	1546	119.75

【利用者在籍状況推移】（各年度3月1日現在）

年度	きらきら	全児童
令和5年度	217	550
令和6年度	216	590
令和7年度	203	529

【主なできごと】

- 4月：1年生タイム、フリースロー、シーボー
5月：ギャッチ記録会、オセロ大会、カチカチ選手権
6月：人間将棋、遠投、オセロ大会
7月：壁面工作部、おやつカフェ、子供地球基金
8月：カチカチ選手権、子供地球基金、あいキッズ祭、おやつカフェ

- 9月：卓球、スポッピン（スポンジパックを使つての遊び）、百人一首
- 10月：鬼ごっこ、シッティングバレー、トランプゲーム、ドッジビー
- 11月：ギャッチ記録会、放課後子供教室（和太鼓）、キッズチャレンジ
- 12月：あいキッズ展覧会、カチカチ選手権、おやつカフェ、プロジェクトN（職員の合唱発表）
- 1月：巨大遊び、プラバン工作、カチカチ選手権
- 2月：おにごっこ、オセロ大会、スポッピン（スポンジパックを使つての遊び）
- 3月：キツチャレだよ全員集合（オンラインイベント）、お掃除DAY、おやつカフェ

※毎月、避難訓練を実施しています。年二回は水災害を想定した垂直避難訓練

- 毎週水曜日 バレーボールクラブ 毎週木曜日九曜サッカー教室
- 毎月第二週 足し絵コンテスト 毎月第三週 イベント工作
- 毎月第三週目火曜日 読み聞かせ 毎月第四週目火曜日 野球教室
- 隔月 イラスト教室 隔月 Tからの挑戦状
- 隔月 飛ばせ紙飛行機 12月より不定期でダンス教室
- 月一回水曜日 英語であそぼう

【苦情内容及び結果の公表】

件数	主な苦情内容	対応及び解決方法
3件	<p>保護者 5年男児の保護者より、「施設職員による身体的接触により、不適切な指導ではないか」との申し出がありました。活動場所でのトラブルがあった場所から児童を遠ざける為であっても、髪の毛を引っ張る行為は行き過ぎ指導であるとの相談で、直接当該職員との面談を求めるものだった。</p>	<p>当該事案発生後、関係する職員および児童への聞き取りを実施し、状況の確認を行いました。職員はトラブルが起きた場所から安全確保のため児童を遠ざけようと頭部を押していたことが判明しました。その際に、意図はしていなかったものの、髪の毛を引っ張られたと児童が感じてしまったようです。そのため、当該職員には不適切保育に当たりかねない行為として経緯の振り返りと再発防止に向けての研修を行いました。</p> <p>その後、保護者と当該職員、事業部長を交えて面談を実施しました。事実関係を整理した上で、再発防止のため、当該職員への再指導を行うとともに、全職員を対象とした適切な支援・対応に関する研修を実施する旨をお伝えし、ご理解をいただきました。職員はこの仕事を続けたいというおもいを伝え、保護者の方からは励ましていただく結果となりました。</p>
	<p>保護者 2年男児Aと2年男児Bの連日のトラブルに対し、児童Aの保護者からいつも一方的に攻撃をされて困っていると相談があった。</p>	<p>普段の様子を職員間で確認したところ、お互いに相手が先に手を出したからやり返しているような状況であることが判明した。また、戦いごっこから次第にむきになり始めてしまうようなこともあるため、周りから気になったタイミングで必ず一声かけ、遊びなのか喧嘩になっているのかを確認するようにした。その旨を児童Aの保護者に伝え、継続して様子を見てほしいと言葉お頂きご納得いただいた。また、同じ情報を児童Bの保護者にも現状として伝え、丁寧に対応をしていただきありがとうございます</p>

		いますとお言葉を頂いた。
児童	児童2名から、職員から馬鹿にされる発言や、行為をされて困ると相談があった。	児童2名からの相談だったため、個別でどのような相談か確認をした。当該児童たちを馬鹿にするような態度をしたり、相手をさげすむような発言をしたりするとの趣旨で、それぞれの主張はほぼ一致していた。その話を受け、当該職員への聞き取りを行った。結果、当該職員としてはそのような意図はなかったものの、実際に行った行為・発言であることは事実と判明した。そのため、当日に職員より児童への謝罪を行い、各家庭の保護者へも謝罪の電話をしました。翌日以降、当該職員へは以前より、数回児童対応や勤務態度について面談を行っていた。そのことも含め、当該職員との協議の上、自主退職となった。

【その他】

① 安全管理

● 避難訓練

- ・ 毎月、さまざまな状況を想定した避難訓練を実施いたしました。年度当初は、災害時に迅速かつ的確に行動できるよう、丁寧な説明を行いながら、児童と職員でイメージの共有を図りました。5月以降は、実際に校庭まで避難する訓練を行い、実践的な対応力を養いました。また、8月と2月には水害を想定した垂直避難訓練も実施し、非常時に備えた意識づけを行いました。
- ・ 下校時には、交通ルールを守って安全に帰宅できるよう、毎回必ず注意喚起を行いました。あわせて、不審者に遭遇した際の対処法についても繰り返し伝えることで、児童自身が自分の身を守る意識を持てるよう努めました。

● 健康管理

- ・ アレルギーを持つ児童への対応については、事前に保護者の方にアレルギー調査票をご記入いただき、面談を通じて詳細を確認したうえで、慎重に配慮・対応を行ってまいりました。補食にアレルゲンが含まれる食品を提供する場合には、対象児童だけでなく、アレルギーを持つすべての児童に対して代替食を提供するようにしています。
また、職員全員が正しく準備・配膳できるよう、補食フローチャートを活用し、複数の職員でアレルゲンの有無を確認する体制を整えました。補食準備スペースには施設内のマニュアルと仕様書に掲載されている区の基準の説明文を掲示して、いつでも確認できるようにしています。さらに、アレルギー対応に限らず、賞味期限切れなどの事故を防ぐため、毎週末に在庫確認を行い、誤提供の防止に努めております。
- ・ 受付時には、児童の体調を視診で確認し、体調が優れない様子が見られる場合には、その都度適切な対応を行いました。
- ・ けがや体調不良があった児童については、状況に応じて一人の判断に頼らず、複数の職員で確認を行う体制をとっています。全職員が情報を共有できるよう、処置簿への記録を徹底し、特に首から上のけがについては、後に体調の変化が生じる可能性を考慮し、必ず保護者へ電話で状況をお伝えするようにしています。

- ・ また、受付には「伝言メモ」ファイルを設置し、児童のトラブルやけがに関する情報を共有することで、帰宅前にその日の様子を確認できるようにしています。

● 衛生管理

- ・ 担当者を決め、施設の衛生点検を随時行いました。
- ・ 補食やトイレ等の衛生管理状態を毎日点検し、チェック表への記入を行いました。

● 安全管理

- ・ 台風や地震の後に施設の破損個所の点検を行いました。
- ・ その日に感じたヒヤリハットを毎日全員が記入し、チーム内で共有することで危険に対する意識を高めました。必要に応じ、会議の議題として取り上げ、全職員に注意喚起を行いました。

② 地域交流

- ・ 「あいキッズ運営協議会」は、年2回予定通り対面にて開催いたしました。委員の皆様には、実際にあいキッズの活動をご見学いただき、地域とのつながりや、児童に身につけてほしい力について、活発な意見交換を行うことができました。下期の会では、参加者を増やすことが出来、より多くの話をする事で運営に役立てることのできる話をする事が出来ました。
- ・ サポーター事業につきましては、子どもたちからの声をいかし、地域の方々の協力を得て毎月様々な活動を展開することが出来ました。年度末には、次年度に向けた新規のサポーター事業として卓球教室と、手話教室の実施に向けての坂下小学校の保護者の方に依頼をして実施に向けて打合せをしました。次年度は、今年度以上に地域の方々の協力を得ることが出来そうです。

若木小学校あいキッズ

【職員の状況】

職名	令和7年4月1日の職員数				年間就任・退任						令和8年4月1日の職員数				
	(内休業職員数) 正規職員	有期契約職員		計	正規職員	有期契約職員				計	(内休業職員数) 正規職員	有期契約職員		実人員合計	
		常勤	非常勤			常勤		非常勤							
						就	退	就	退			就	退		
サービス管理者	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
主任	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
副主任	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1
非常勤	0	0	15	15	0	0	0	0	2	0	2	0	0	19	19
登録型非常勤パートタイマー	0	0	4	4	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1
計	3	0	19	22	1	0	0	0	3	1	3	3	0	19	22

【施設運営状況】

- 職員が取り組みの目的・理由がどう繋がっているかを理解し、実際に動けるように、話し合いと必要に応じたシミュレーションを重ねて参りました。
 試行錯誤のプロセスの中で、なかなか結論を出せずに時間を要し、年度の後半にかけて現場から戸惑いや不安が生じる場面もありました。職員が自発的に発信しあえる関係性が一時的に細くなったことを重く受け止め、基本の共有と、動きやすさに直結する具体的なアプローチへと軌道修正を図りました。
 「まずできるところから発信する」という小さな実践を繰り返すことで、職員が着実に自信を育み、お互いを支えあいながら主体的に動ける組織基盤づくりに注力しています。

【利用者支援状況】

- 地域関係者の方からご紹介いただいた帝京大学の講師や教授の方々をお招きし、『生活習慣病予防講話』『ガン予防啓発の為に講話』を開催いたしました。あいキッズ育成室にて、スライドや講師が用意した教材を用いながらご指導いただいたことで、児童が自分や家族の生活習慣を見直すキッカケを作ることが出来ました。講話を通じて、『質の良い睡眠の大切さ』『ゲームやyoutube等を長時間、見ることによる影響』『スナック等の偏食による健康リスク』『喫煙(受動含む)や飲酒による健康リスク』『ガンについての正しい知識』『腎臓病や血管系疾患についての正しい知識』について、児童に分かりやすく伝えることが出来たと感じています。「見る」「聞く」だけでなく、「実体験を話す」ことができたことで、児童にとってより身近に感じられ、大変有意義なイベントとなりました。
- 児童からの「新しい遊びをやりたい」という声をきっかけに、『若チャレ』というイベントを開催いたしました。『ペットボトルフリップ』『めんこ(工作と遊び)』『壁タッチ100回ジャンプ』『ワカミン探し(宝探し)』という遊びを各コーナーごとに設定して行いました。児童たちは、自由に遊

びを選び、点数や成功回数の最高記録、自己記録更新を目指して夢中になっていました。活動中から終了後まで「もっとやりたい!」「楽しかった!」という声が絶えない、充実した時間となりました。

- ・ 昨年度も開催した帝京大学の准教授を講師にお迎えしたアンガーマネジメント研修を、今年度は、学育事業部全職員向けに実施いたしました。内容も、昨年度の反省を活かして、より現場の職員が想像しやすい事例を取り入れるなど、日頃の実践が専門的な視点から解説されることで理解が深まり、研修効果が高まったと感じられました。参加者からは「自分たちの関わりの課題となっていたことへの対応が、研修の中で確認できた」「知らなかったことを知ることができ、参加して良かった」といった前向きな感想が寄せられました。不適切な関りへの対応が求められるなかで、日々の児童との関わり方を振り返る取り組みのひとつとなりました。
- ・ 職員の関わり方で、「児童の考えを聞く」「児童と話し合っ決めて」「児童のやろうとすることを見守る」といった姿勢が定着しました。一方で、特に高学年児童からの「面倒くさい、ほっといて」等の反応に、どのように返答してよいのか迷う場面が増えてきました。次年度以降に向けての課題ととらえ、継続して取り組んでいます。

【施設整備状況】

[区から準備した物品] 校庭遊具倉庫、職員通路用スノコ
[法人で購入した物品] 特になし

【年間利用状況】 (各月平均利用数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
きらきら オレンジ	106	106	102	107	87	101	91	94	95	92	88	86	1155	96.25
さんさん	26	33	33	30	22	26	22	22	19	18	22	18	291	24.25
計	132	139	135	137	109	127	113	116	114	110	110	104	1446	120.5

【利用者在籍状況推移】 (各年度3月1日現在)

年度	きらきら	全児童
令和5年度	157	326
令和6年度	171	336
令和7年度	167	334

【主なできごと】

- 4月：はじめて工作、こいのぼり工作、あいキッズ探検
5月：みんな de あそぼう（人間将棋・ドンじゃんけん）、ぬりえギャラリー、ドッジボール
6月：みんなでサッカー、謎解き頭脳王、Sけん
7月：七夕工作、夏野菜収穫、ピカピカどろだんご
8月：夏祭り、解体キングダム、たすけ
9月：引渡し訓練、謎解きチャレンジ、ドッジボール大会

- 10月：ハロウィン工作、サッカー、まんから大会
 11月：人間将棋タクティクス、レジン工作、落ち葉遊び
 12月：年末お楽しみ会、百人一首、編み物制作
 1月：伝承遊び（けん玉、コマ回し、ゴム段）、百人一首大会
 2月：鬼退治中当て、バレンタイン工作、マラソン、縄跳び
 3月：おたのしみ会、VS 職員、リクエスト遊び
- ※毎月開催 クラフト教室
 ※毎月1回 英語であそぼう
 ※サポーター事業 読み聞かせ、そろばん教室、おりがみ教室、サッカー教室
 ※寺子屋連携事業 相撲教室、日大豊山女子高 吹奏楽コンサート

【苦情内容及び結果の公表】

件数	主な苦情内容	対応及び解決方法
1件	保護者 「同学年の児童から、胸の辺りを叩かれて、先生に言ったのに何も対応してくれなかったと子どもが言っている。ちゃんと対応してほしい」とご意見を頂いた。	対応職員及び、相手児童と周囲の児童にも聞き取りを行い、児童からの訴えを受けて、職員が心配して「(叩かれたところを) 冷やそうか」と声を掛けたが、「大丈夫」と本児が答えていたこと、本児の前ではないが、相手児童に暴力はどんな理由があっても許されないことであると指導していたことが分かった。対応後にその内容を本児にフィードバックしていなかったものの、対応自体はしていたこと、今後も暴力ではない気持ちの表現方法を児童と考えていくことを保護者へ伝え、最終的にご納得いただいた。

【その他】

① 安全管理

- 避難訓練（13回）
 - ・ 地震や火災時の避難方法など、時期や種類に合わせて訓練しました。
 - ・ 職員が避難誘導について学びました。板橋区シェイクアウト訓練、中台・若木町会の避難訓練に参加、啓発活動としました。避難訓練
 - ・ BCPのシナリオを用いた机上訓練に若木町会の防災リーダーと若木小避難所長に参加してもらい、現状、想定される施設の発災時の動きを確認、今後の協力体制を確認しました。
- 健康管理
 - ・ 夏は猛暑日が多く、外遊びの代わりに冷房が効く体育館で遊び、熱中症予防に努めました。
 - ・ 手洗いの指導を適宜行いました。マラソンだけでなく、縄跳び等を行うことで基礎体力の向上に繋がりました。
- 衛生管理
 - ・ 毎日、補食の配膳担当者が衛生点検を実施しました。
 - ・ 嘔吐処理の研修を行いました。

● 安全管理

- ・ 施設外で起きた事故・クレームの検証と未然防止に向けた職員配置や動きを見直しました。
- ・ 書庫等の保管書類の整理をしました。
- ・ 鍵の保管方法を見直し、鍵束ごとに何の鍵か分かる為の表示や所在確認表の作成を行いました。

② 地域交流

- ・ 中台中学校の生徒を職業体験として、また、北豊島工科高等学校の生徒をインターンとして、受け入れました。それぞれに働くということについて考えてもらいつつ、小学生にとっては、職員よりも身近な存在である中学生、高校生が働く姿を見ることで、あいキッズを仕事先として意識するきっかけにすることができました。人手不足の中、将来に繋がる意義深い取り組みとなりました。
- ・ 地域で開催された『さくら草まつり』に、学校と合同で参加いたしました。学校と連携することで、より多くの児童に声をかけることができ、50名近い児童の参加がありました。伝統の『けん玉ダンス』に取り組む児童の姿を、多くの保護者や地域の皆様にご覧いただく貴重な機会となり、学校からは特色であるけん玉の活動があいキッズの協力のおかげで継続できているという言葉を頂戴しました。
- ・ 聖路加国際病院 臨床検査科 部長の先生と、児童向けに生活習慣に関する講話を実施するための打ち合わせを、志村第四小あいキッズでも開催して頂けることになり、合同での打ち合わせを行いました。先生の専門分野であるAEDを用いた救命訓練が正規職員向けに実施可能かの交渉をし、前向きに検討いただけることになっている。夏休みなどで生活リズムが乱れがちな時期に向けて、疾病リスクへの理解を深め、より多くの児童や保護者の皆様にご気づきを得ていただける機会としていきたいと考えております。また、救命訓練についても専門的見地からご指導いただくことで、職員の実践力向上に繋げることが出来ればと考えております。

志村第二小学校あいキッズ

【職員の状況】

職名	令和7年4月1日の職員数				年間就任・退任								令和8年4月1日の職員数			
	正規職員 (内休業職員数)	有期契約職員		計	正規職員	有期契約職員				計	正規職員 (内休業職員数)	有期契約職員		実人員合計		
		常勤	非常勤			常勤		非常勤				常勤	非常勤			
						就	退	就	退						就	退
サービス管理者	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
主任	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
副主任	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般	3(1)	0	0	3	1	1	0	0	0	0	0	2	0	0	2	
非常勤	0	0	14	14	0	0	0	0	5	5	0	0	0	15	15	
登録型非常勤パートタイマー	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
計	5	0	17	22	2	2	0	0	5	5	0	4	0	16	20	

【施設運営状況】

- ・ 責任者・副責任者が同時に変わったことによるチーム運営の不安定さや、保護者から職員入れ替わりに対するマイナスメッセージが届く中、副主任の体調不良による交代がありました。その中でも大きな事故を起こすことなく一年間運営を維持することができました。
- ・ 児童が主体的に関わる取り組みとして、補食時の当番、運動遊びの前の「準備運動」「活動決め」などを前年度から継続して実施してまいりました。これらの活動小学校という小さな社会の中で、上級生が下級生に対しリーダーシップを発揮する機会となり、思いやりや助け合いを育む活動となっています。

【利用者支援状況】

- ・ 保護者会は年間で5回開催いたしました。参観やイベント、懇談会への参加者が固定化しつつある点は今後の課題ではありますが、普段あまり関わりのない保護者同士が交流できる貴重な機会となっており、参加された方々からは「参加してよかった」との前向きなご感想を多数いただいております。

【施設整備状況】

- [区に依頼した修繕] 児童学習用テーブル 2台新規購入
コンセント発火に伴う部品交換2か所
エアコンの不具合修理
- [区の計画による改修] 学校南門にあいキッズ専用の電子錠付きの門を設置
- [法人で購入した物品] 複合機

【年間利用状況】（各月平均利用数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
きらきら オレンジ	113	121	108	109	91	103	94	91	87	93	73	86	1169	97.41
さんさん	37	28	29	37	34	21	20	17	16	18	14	19	290	24.17
計	150	149	137	146	125	124	114	108	103	111	87	105	1459	121.58

【利用者在籍状況推移】（各年度3月1日現在）

年度	きらきら	全児童
令和5年度	185	323
令和6年度	205	315
令和7年度	185	316

【主なできごと】

- 4月：初めてシリーズ（野球・バスケ・バドミントン・サッカー）
 5月：50m記録会、あいキッズカップ
 6月：ダンス教室、レクリエーション教室
 7月：キッズコーチ工作、あいキッズカップ
 8月：ダイナミックな絵を描こう、夏フェス（スライム・ヨーヨーすくい・しむにクエスト）
 9月：チュックボールチャレンジ、鬼ごっこタイム
 10月：ハロウィンの飾りを作ろう、よみきかせに行こう、コマづくりワークショップ
 11月：空き箱工作、バレーボールタイム
 12月：大掃除&ビンゴ大会、和太鼓教室、クリスマスポスターを描こう
 1月：キャタピラレース、クレープを作ろう
 2月：鬼退治玉入れ、ひな壇を飾ろう、シーボーで雪合戦
 3月：キッチャレだよ全員集合、春の装飾作り、お金と保険の話、お祝いクラッカー作り

※ 毎月実施：壁面工作（「私の時間」へのプレゼント）、あいキッズカップ

※ 英語であそぼう 月2回実施

※ サポーター事業 読み聞かせ・将棋・運動遊び・キッズヨガ・柔力球

【苦情内容及び結果の公表】

件数	主な苦情内容	対応及び解決方法
1件	保護者 学校の保護者会後に児童のお迎えが立て込んでいたこともあり、保護者への対応が上から目線での発言に聞こえたり、声掛けに対し声を出しての返事ではなく首を縦に振るのみのあいづちとなっていたというご意見を頂いた。	お迎えの保護者を待たせる時間を短くすることを考えた上での行動ではあったが、目の前の保護者一人ひとりに丁寧に対応することを心がける。

1件	保護者	運動遊びにおいて上級生から下級生に対しての暴力及び奪い取りがあり、以前にも対応をお願いしたが改善されず、再度同じことが起こった。	関係した両家庭と職員で面談をし、改善案を具体的に示し、経過報告まで合わせて対応したことによりご納得いただいた。
----	-----	------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------

【その他】

① 安全管理

● 防災訓練

- ・ 地震や火災に備えた避難訓練を毎月実施しました。（内、9月は引き渡し訓練）
- ・ 夏で薄着になる前に7月にプライベートゾーン講習を実施しました。
- ・ 志村警察協力のもと、11月に不審者対応訓練を実施しました。

● 健康管理

- ・ アレルギー児童へは保護者と面談の上、安全な補食を提供できるように配慮しました。主に複数名での確認、アレルギー児童は専用トレイを使用して提供しています。
- ・ 受付時に児童への視診や声かけを行い、体調の悪そうな児童には早期に対応しました。
- ・ 5月下旬から必ず活動前にWBGTを計測し、安全に出来る範囲で校庭遊びを行いました。校庭に出られない時には体育館を活用し運動遊びができるスペースを確保してきました。また休憩を小まめに設け、水分補給や体を休めるようにして児童及び職員の体調管理に努めました。

● 衛生管理

- ・ 児童来室時に玄関や手洗い場で職員が声掛けして石鹸を使った手洗いの徹底に努めました。
- ・ 毎日、補食配膳担当者が衛生点検を実施しました。

② 地域交流

- ・ 板橋美術家連盟との連携により絵の具を使ったダイナミックな作品作りをした。作品は区民文化祭や美術展に飾られ、11月には複合施設「ここから」が開催する作品展にも展示
- ・ 地元企業「株式会社ライト製作所」の協力で高学年児童を対象に3Dプリンターを使った物作り体験を実施
- ・ 「明治安田生命」による金融教育イベントを実施
- ・ 複合施設「ここから」を訪問し、高齢者の方と幼児クラスに大型絵本の読み聞かせを実施
- ・ 「あいキッズ運営協議会」を、6月および2月に対面形式にて開催
- ・ 志村第四小あいキッズと連携し、高齢者事業部「私の時間」に毎月壁面装飾をプレゼント
- ・ 学校運営を協議するICS（板橋コミュニティースクール）に参加
- ・ 地域活性化および子どもたちの郷土愛を育むため、近隣商店からの補食購入を積極的に行った。直接交渉に出向き、新規に取引を始めた店舗もある。

志村第四小学校あいキッズ

【職員の状況】

職名	令和7年4月1日の職員数				年間就任・退任							令和8年4月1日の職員数			
	正規職員 (内休業職員数)	有期契約職員		計	正規職員	有期契約職員				計	正規職員 (内休業職員数)	有期契約職員		実人員合計	
		常勤	非常勤			常勤		非常勤				常勤	非常勤		
						就	退	就	退						就
サービス管理者	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
主任	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	-1	1	0	0	1
副主任	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1
一般	2	0	0	2	1	0	0	0	0	0	1	6	0	0	6
非常勤	0	1	19	20	0	0	0	1	1	2	-2	0	1	17	18
登録型非常勤パートタイマー	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
計	4	1	19	24	2	1	0	1	2	3	-1	9	1	17	27

【施設運営状況】

- 令和7年度は、前責任者が他施設へ異動し、新たな責任者が就任しました。また、常勤の8時間パートの異動や副責任者の交代、正規職員の勤務経験があるパート職員の退職などがありましたが、今までの運営の形や方法を変えずに、安全かつ円滑に運営できるように努めてまいりました。
- あいキッズと学校の共有会として、副校長と月に一度、定期的に打ち合わせる機会を設けました。放課後に使用して良い教室や配慮すべき児童、保護者の情報、学校との連絡方法、その他の確認事項について、情報共有し、運営へ活かすように努めました。また、日々の児童間のやりとりや、保護者とのやりとり、放課後の出来事の中で、学校と共有すべき内容を副校長や担任へ密に伝達することで、双方で協力、連携をすることができました。

【利用者支援状況】

- 令和6年度から始めた、児童の考えや意見を取り入れた運営を目指す【子ども委員会】の活動を本年度も継続しました。イベントの告知、ルールの話し合いとポスター作成、補食のメニュー決めなどを主な取り組みとし、児童が主体的にあいキッズ運営に関わる歩みを進めました。
- 児童主体のイベントとして、5月の保護者会前半の部で保護者と児童と一緒に参加できるポイントラリーイベント【志四の森のアスリ】や12月には【年末お楽しみ会】を開催しました。双方多くの児童が前向きに取り組み、活躍の場と異学年交流の機会となりました。参加した保護者からも前向きな声を多数いただいています。

【施設整備状況】

- [区が準備した物品] 児童用丸椅子(10脚)
- [法人で購入した物品] 複合機

【年間利用状況】（各月平均利用数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
きらきら オレンジ	177	173	175	180	148	163	151	148	151	150	136	140	1764	147.00
さんさん	42	42	42	43	27	37	30	31	34	27	25	25	413	34.41
計	210	210	204	213	132	197	179	159	167	169	168	169	2177	181.41

【利用者在籍状況推移】（各年度3月1日現在）

年度	きらきら	全児童
令和5年度	253	706
令和6年度	250	705
令和7年度	250	678

【主なできごと】

- 4月：あいキッズ探検、紙風船バレー、全面サッカー、マンカラ大会、こいのぼり工作
 5月：志四の森のアスリ、なでしこタイム、SYS ベースボール、炎のドッジ、パラシュート作り
 6月：志四のバスケ、イラスト教室、お弁当工作、バレーボール
 7月：七夕工作、柔力球、なでしこドッジ、紙皿工作
 8月：盆踊り練習会、手打ち野球、ヘアピン作り、ビックリバーシ、レジン工作、夏祭り
 9月：ダンスタイム、みんなで人間将棋、茶道教室、くるくる紙コップ工作
 10月：走り方教室、シュシュ作り、異文化タイム、しっぽとり、ハロウィン工作
 11月：あみぐるみ、キッズヨガ、将棋タイム、パタパタ動物工作
 12月：手打ち野球、民謡、キックベース、クリスマスツリー作り、年末お楽しみ会
 1月：駅マラソン、大縄大会、節分工作、リレー
 2月：ミッション鬼ごっこ、ありがとう工作、ヨガ教室、ひなまつり工作
 3月：キッチャレだよ！全員集合、メッセージカード作り、VS スタッフ

- ※ 英語であそぼう 月1回 対面開催
 ※ サポーター事業 読み聞かせ 毎週月曜日
 本作り 毎月1回土曜日
 イラスト 教室毎月1回
 わくわくおはなし会 毎月1回
 おりがみ教室 毎月1回
 柔力球 毎月1回木曜日
 異文化タイム 毎月2回第2・第4木曜日
 民謡 毎月1回
 将棋タイム 毎月1回
 キッズヨガ 毎月1回
 サッカータイム 毎月2回第1・第3火曜日

【苦情内容及び結果の公表】

件数	主な苦情内容		対応及び解決方法
2件	保護者	保護者より、特定の職員が大声を上げていたり、子どもを迎えに行くと甲高い声で話したりしており、児童が怖がっているとご指摘をいただきました。	当該職員に聞き取りを行い、精神的余裕がない時やチーム連携が不十分な時に、声を荒げてしまうことがあると確認が取れました。 その上で、大きな声での指導は児童や保護者に不安を与えてしまうため、声量や声の高さを意識して対応すること、またチームでの連携を強化し、職員一人に負担が集中しない体制を整えることに努めました。合わせて、3ヵ月間本人の困り感や行動、取り組みを紙面に記入したものに対して、責任者から前向きな声や助言を行うことで改善を図りました。
	保護者	校庭遊びの休憩時、職員の対応により児童が身体的な違和感を訴えたのご指摘がありました。保護者より、当該対応の状況について説明を求めご連絡をいただきました。	ご心配をおかけしたことについて謝罪し、当該場面について関係者からの聞き取りを行いました。保護者へ聞き取りの結果と経緯、当該職員の処遇について、振り返り、助言、研修の学びを通し、現場に復帰することを伝えて、ご了承いただきました。

【その他】

① 安全管理

● 防災訓練

- ・ 地震や火災に備えた避難訓練を8回、引き渡し訓練、防犯訓練を各1回ずつ実施しました。

● 健康管理

- ・ アレルギー児童へは保護者と面談の上、安全な補食を提供できるように配慮しました。補食前の成分表を複数名で確認、アレルギー児童は専用のお盆にて他の児童よりも先に名前を呼び、必ず手渡しで提供をしています。
- ・ 受付時に児童への視診や声かけを行い、体調の悪そうな児童には早期に対応しました。
- ・ 夏季の室外遊び実施の判断基準として、暑さ指数(WBGT)に基づき、31℃以下の場合のみ実施しました。
- ・ 気温が高い日は、外遊びの合間に水分補給の休憩時間を設けて、児童及び職員の体調管理に努めました。場所は日陰や冷房を使用した体育館を利用しました。

● 衛生管理

- ・ 児童来室時には、石鹸を使った手洗いの徹底を呼びかけました。また、活動の切り替えのタイミングで手を洗うようにしました。
- ・ 玩具や児童がよく触れる場所の消毒を、チェックリストを用いて定期的に行いました。
- ・ 毎日、補食配膳担当者が衛生点検を実施しています。

● 安全管理

- ・ 台風や地震の後に施設を点検し破損個所の確認をしました。
- ・ 日々の気になる児童の様子や対応したこと、運営についての意見等は、終礼の時間を設けて情報共有をするようにしました。

② 地域交流

- ・ 本年度は運営協議会を2回開催いたしました。前期の協議会では、自施設の運営報告のほか、あいキッズと学校の連携についてご質問をいただきました。児童や保護者に関する情報を密に共有し、連携していることについて、委員の皆様にご理解いただくことができました。後期の協議会では、行政の再選定を経て、向こう5年間の再受託決定を報告するとともに、児童の【自己肯定感】をテーマに熟議を行いました。学校長をはじめ委員の方々の体験談や、自己肯定感が高まるきっかけ等について、活発な話し合いが行われました。また、児童に対する職員の関わり方の方向性や現状の進捗についてお伝えし、今後の運営に向けた助言をいただきました。
- ・ 志村図書館様より定期的に図書をお借りし、学習時間中に子どもたちが自由に読書できる環境を整えています。
- ・ 地域サポーター事業を5件から11件へ拡大しました。
- ・ 志村第四小学校の近隣にある株式会社ヤマテ・サイン様より、昨年度ご寄付いただいた廃材を活用しました。夏休みには児童が一息つける【あいキッズハウス】、ハロウィンには【フォトスポット】を作成するなど、有志の児童が楽しみながら作品を仕上げました。全児童に利用してもらうことで、あいキッズ全体の満足度を高めることができました。